

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール 間伐実践・環境教育部門
 間伐・間伐材利用推進ネットワーク会長賞
 特定非営利活動法人 いわて森林再生研究会

取組の名称	間伐材の資源化プロジェクト	
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 荒れた森林の間伐と、搬出した材の資源化を図る。 ・ 間伐材は、薪づくり、炭焼き・製材で木質燃料、用材などの資源に変える。 	
取組のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 切り捨て間伐は、もったいない精神で搬出して資源化しよう。 ・ プラスチックなど石油まみれの暮らしの中に木質製品を取り込もう。 ・ 石油使用を減らし地球温暖化防止に少しでも努めたい。 	
取組内容・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動日数・・・年間 24 日、 参加人数・・・延べ 272 人（17 年度） ・ 集材した間伐材を 薪づくり、炭焼き、製材、木工、キノコ栽培で資源化。 	
実行体制・安全対策等 (他団体との連携状況を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動分野ごとに独立事業として各リーダーがマネジメントし活動。 ・ 当会の「チェーンソー講座」で安全技術を身に付けた会員が主体となって活動。 ・ 講習会講師の派遣(年間延べ 70 人)をとおして県内団体と連携。 ・ 定期的に安全講習会を開催する。また「グリーンボランティア保険」に加入。 	
実績	除間伐実績	・ 2012 年度～2017 年度(6 年間)・・・延べ面積 計 46 ha、搬出・資源化した間伐材 455 m ³ 。
	環境教育	・ 2012 年度～2017 年度(6 年間)・・・「森のチェーンソー講座」で、延べ 276 人を養成、研修レベル・樹高 20m、胸高直径 25 cm のスギ立木を安全・正確に伐り倒すこと。
取組による効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 年で間伐材 455 m³ を資源化して、CO₂ 吸収量 262 t を図った。 ・ 東日本大震災(2011 年)、岩泉町台風禍(2016 年)の支援では、資源化の技術が役立つ。 ・ 薪、炭、用材、木工品など徐々に暮らしの中に取りこまれてきた。 	
製品等の写真、図表		
連絡先等	(住 所) 〒 020-0113 岩手県盛岡市上田堤 1-13-7 (担当部署等) 事務局長 齊藤 文男 (電話番号等) TEL : 019-663-0547 FAX : 019-663-0547 (URL) http://i-sinrinsaisei.org	

評価コメント	<ul style="list-style-type: none">○ 地域住民に本格的な間伐と薪、炭、製材、キノコ栽培などの多様な間伐材利用の実践と技術指導を行っており、今後間伐やその利用が地域住民によって実施されることが期待される。○ 間伐をする側を育成している点を評価（使う教育をする団体が多い中）○ 精力的に活動を続け、発信にも注力している。○ 定期的に安全講習が開催されている。間伐材の資源化の取組を評価○ 2003年に設立以降、ボランティアにより手入れ不足の森林を間伐等で健全な森林に再生する多彩な活動を実践しており、評価される。○ プログラムや実践力に魅力がある
--------	---